

今年もJF全漁連主催で「貝殻利用と豊かな海づくり研修会」が開催され、3名の講師による貝殻利用に関する講演が行われました。講演後は参加者と活発な意見交換も行われ、盛況な研修会となりました。

## ①豊かな海づくりに関する海洋政策について SDG14 と世界の動向

笹川平和財団海洋政策研究所 主任研究員 小林 正典 氏

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」では、17の分野に分かれて目標が掲げられており、豊かな海づくりについては14番目の「海の豊かさを守ろう」を中心に取り組まれています。今回の講演では、世界各地における環境負荷や漁獲資源の現状、海洋保護区の設定、IUU（違法・無報告・無規制）漁業の問題など様々な視点から、わかりやすく解説いただきました。



講演の様子（小林主任研究員）

## ②ナマコの増殖

徳島大学生物資源産業学部 教授 浜野 龍夫 氏

全国各地で資源保護や増殖などが行われているナマコについて、生態や生息場所、資源保護の取組など、浜野教授自身が長年にわたり続けてこられた研究調査に基づく知見を、わかりやすくご紹介いただきました。

### ナマコが増える三条件

- 夏に寝るところ
- ふってくるエサ
- 幼生が付き  
稚ナマコがころげない

ナマコが増える条件（発表資料より抜粋）

## ③鳥取県漁協における水産資源回復の取り組み事例と課題

鳥取県漁業協同組合 本所 漁政指導課指導職員 古田 晋平 氏

古田氏には、非常に成果のあがっているクロアワビの種苗放流についての手法や藻場造成、イワガキの稚貝付着の促進など、鳥取県海域で行われている水産資源増殖の取り組みについて、現状と課題を踏まえて、多くの事例を紹介いただきました。

### 鳥取県における水産資源増殖の取り組み

- クロアワビ種苗放流
- サザエ種苗放流
- キジハタ種苗放流
- イワガキ稚貝付着促進
- アラメ藻場造成（種苗移植）
- アカモク・ホンダワラ畑づくり
- ナマコ天然採苗（試験中）

砂浜域

- ヒラメ種苗放流
- バイ産卵促進

鳥取県における水産資源増殖の取り組み

（発表資料より抜粋）



研修会の様子